古川税務署　　(事後評価)

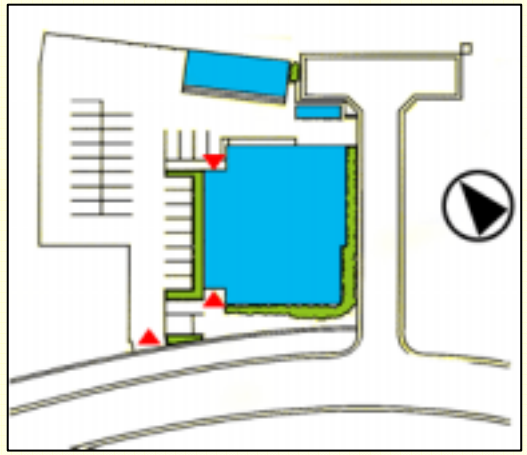


◆事業概要

事業年度：平成14年度
　　～平成15年度
総事業費：約6.6億円

住　　所：宮城県大崎市
　　古川旭六丁目2番15
敷地面積：2,577㎡
延べ面積：1,901㎡
構　　造：鉄筋コンクリート造
　　地上3階建





配置図

◆事業の効果

◇基本機能の改善

■ 規模･構造

官署名	狭あい率 (旧庁舎) → (新庁舎)	旧庁舎経年数
古川税務署	0.66 → 1．0	35

■ 性能

･ＯＡ化対応（電気容量のアップ、ＯＡフロアの採用）
･行政需要変更への対応（事務室の大空間化）　　等

◆施策に基づく付加機能

◇環境負荷低減対策

- 屋上緑化
- 高効率トランス
- 太陽光発電設備
- 照明制御

庁舎の二酸化炭素排出削減量

-4.6kg-CO2/年・㎡　(-6.1%)



屋上緑化、太陽光パネル

◇高度なバリアフリー対策

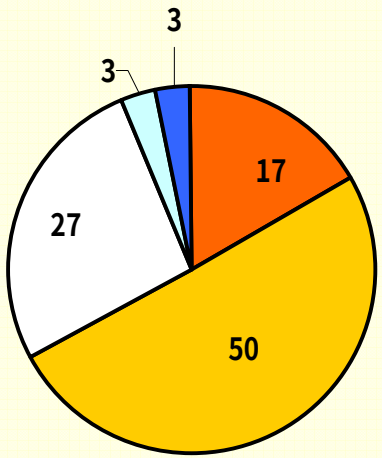
- 各階に多目的トイレを設置
- 事務室の入口扉を自動ドアとした。



事務室入口の自動ドア

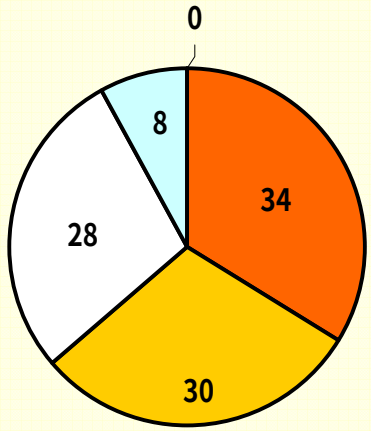
◆CS(顧客満足度) 調査

職員
総合満足



回答者　職員：６７人

一般利用者
利用しやすさ総合満足

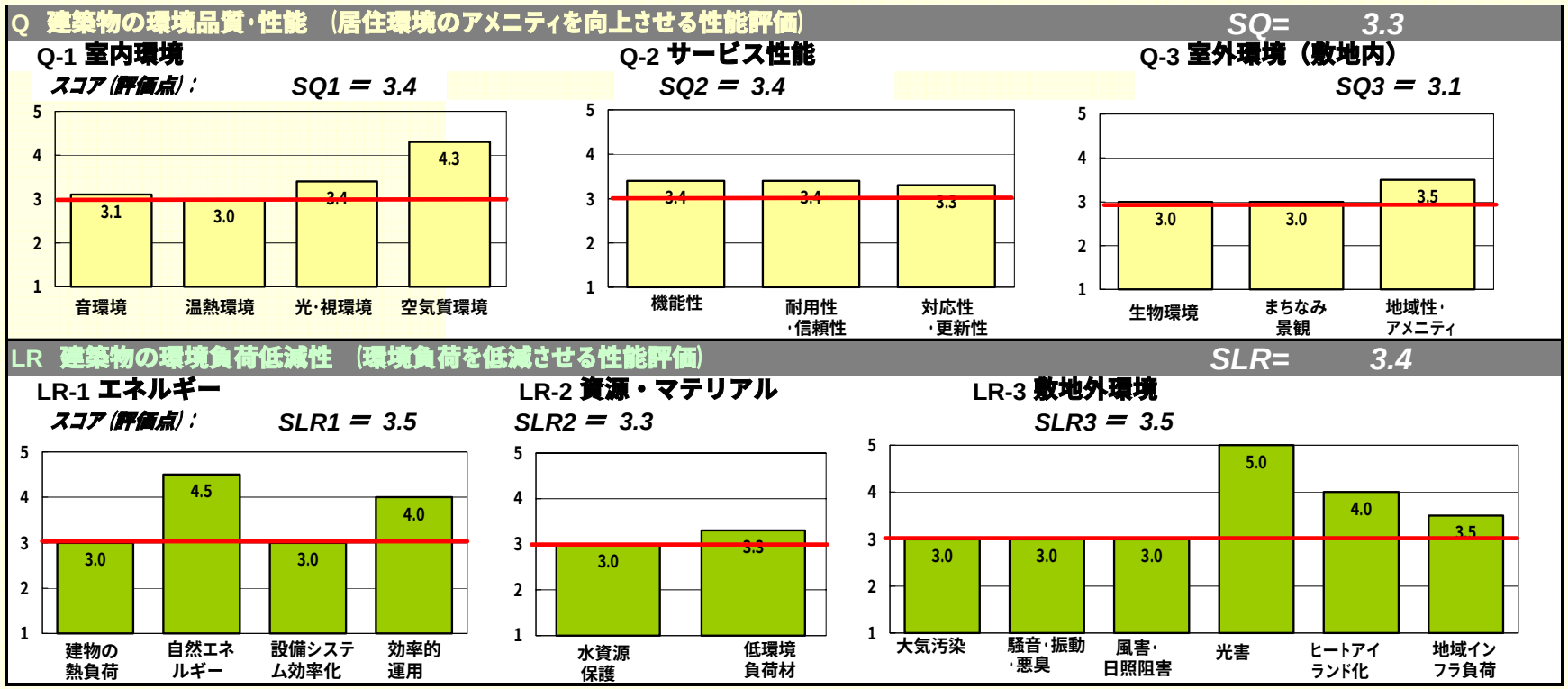


回答者　一般利用者：５７人

- 満足である
- どちらかと言えば満足である
- どちらともいえない
- どちらかと言えば不満である
- 不満である

◆CASBEE指標評価

◇環境性能評価結果

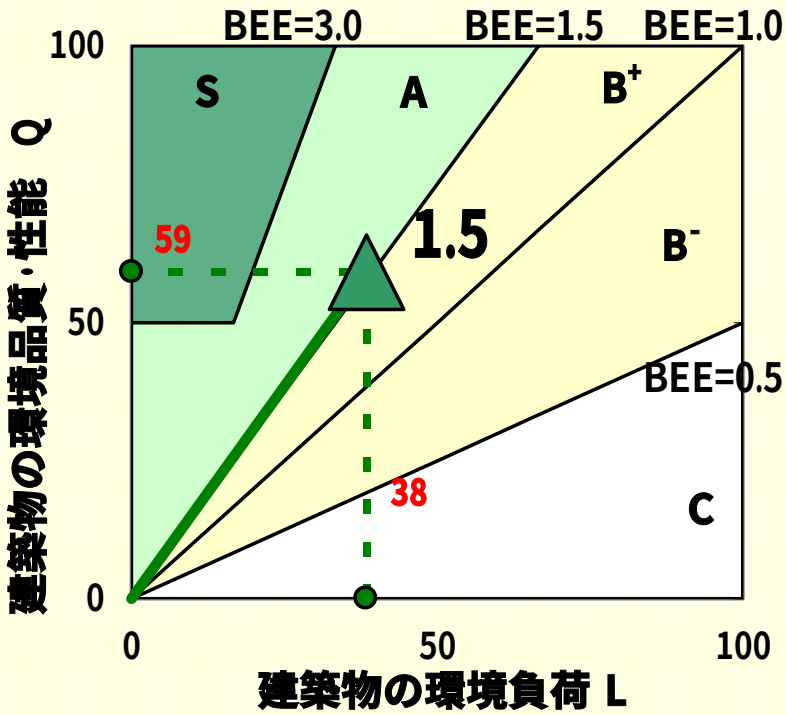


◆CASBEE指標評価

◇環境性能効率　ＢＥＥ

$$BEE = \frac{25 \times (SQ - 1)}{25 \times (5 - SLR)}$$

$$= \frac{59.0}{38.4} = 1.5$$



環境性能効率BEE=1.5

領域ランク：A

領域ランク

S　：すばらしい

A　：大変良い

B+：良い

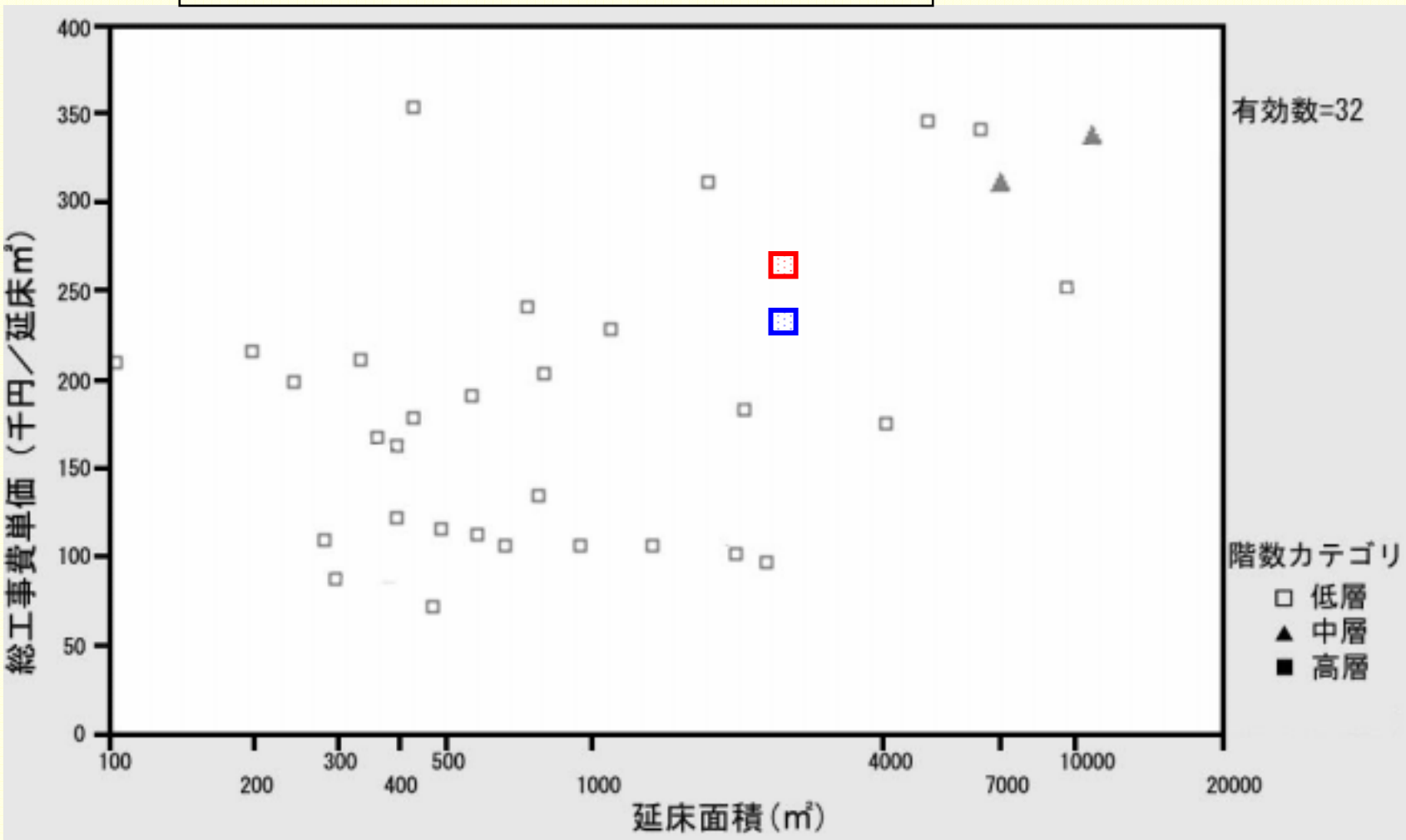
B-：やや劣る

C　：劣る

◆事業の費用（民間ビルとの比較）

□ 庁舎の総工事費単価　：２８１千円/㎡
□ 民間ビルに相当する部分の総工事費単価：２３０千円/㎡

建物用途：一般事務所
地　　域：東北（仙台圏）2001～2003年着工



出典：ジャパンビルディング・コスト・インフォメーション　(財)建設物価調査会

◆対応方針

案：改善措置の必要性及び

今後の事後評価の必要性はない。

理由：　○老朽・狭隘を解消

○業務の効率化

・事務スペースの改善。

○施策に基づく付加機能

・環境負荷低減に配慮。

・高齢者・身体障がい者に配慮。

○費用

・民間ビルと比較して適正な費用。